

## 社会変革と技術経営

### AI 処理、ChatGPT を使って「技術経営」を問う

#### － 財団の取り組み、産業界や経済会で注目 －

専務理事 小平 和一郎

チャット（Chat）GPTが注目されている。『技術経営』等について問い合わせた。

**「技術経営学とは何か」**との問いに、技術経営学は技術と経営を組み合わせた学問領域であり技術とビジネスの相互関係を研究する学問で、技術の開発、管理、活用における経営的側面や課題を探求。さらに技術革新がビジネスに及ぼす影響や企業が技術を経営戦略にどう組み込むかを研究。技術経営学は経営教育の一環としても取り入れられ技術経営の専門家やリーダーの育成に寄与。財団の取り組みと一致した回答があった。

**「技術経営とは何か」**と聞いてみた。技術と経営を組み合わせたアプローチであり、技術的な側面と経営的な側面を統合し、組織やビジネスの成功を追求するために使用される手法や原則を指す。技術経営の実践者は技術と経営の両方の知識やスキルを持ち、組織内の技術活動を効果的に統合し、経営目標を達成するために活動すると回答。

**「技術経営における技術とは何か」**と大学の経済学部の試験で良く使う設問である。「技術」とは、科学的な知識や技能を応用して、物事を設計、開発、製造、操作、保守、改善するための手段や方法を指す。産業やビジネスの中で製品やサービスの開発・製造・提供プロセスの最適化、品質向上、効率向上等の目的で利用。これらの要素を組織やビジネスの戦略に統合し、競争力や効率性の向上を図る。

**「文系が学ぶ技術経営学とは何か」**と聞いた。文系の学生や専門家が技術と経営の融合に関する知識やスキルを習得する学問領域。文系の学生は主に文学、社会科学、人文科学などの分野を専攻しており科学や技術に関する専門知識が不足している。現代社会、技術と経営の理解がますます重要になっている。文系の学生が技術と経営の両方を理解し、統合するためのフレームワークやツールを提供している。財団が学部の学生に教えている狙いと合致している。

**財団と西河洋一理事長をご存知か**との問いに、財団の設立者西河洋一を知っていると回答。財団は日本の産業界の発展や人材育成を支援することを目的として設立。研究助成や教育プログラムの提供、産学連携の促進などを通じて、産業の技術力向上や人材育成に貢献している。財団の取り組みは産業界や経済界において注目されており、技術経営やイノベーションの推進に貢献しているとの評価を得た。

西河洋一の経済界や産業界での豊富な経験や知見を活かし、技術経営の重要性や人材育成に対する啓発活動も行っているとの的確な回答を得た。

(小平和一朗専務理事)

—以上—